

令和6年度

専攻科学生募集要項 入学案内

(出願書類添付)

推薦選抜	願書受付期間	令和5年5月10日(水)～5月12日(金)
	検 査 日	令和5年5月20日(土)
	合 格 発 表 日	令和5年5月25日(木)
	入学確約書提出期限	令和5年6月 1日(木)
学 力 選 抜	願書受付期間	令和5年6月21日(水)～6月23日(金)
	検 査 日	令和5年7月 1日(土)
	合 格 発 表 日	令和5年7月10日(月)
	入学確約書提出期限	令和5年7月28日(金)
アドミッション・ オフィス選抜 (AO選抜)	願書受付期間	令和5年10月3日(火)～10月5日(木)
	検 査 日	令和5年10月14日(土)
	合 格 発 表 日	令和5年10月19日(木)
	入学確約書提出期限	令和5年10月26日(木)
入 学 手 続 き		令和6年2月下旬頃(決定次第別途通知する)



独立行政法人国立高等専門学校機構

阿南工業高等専門学校

徳島県阿南市見能林町青木 265(〒774-0017)

TEL (0884) 23-7133(学生課教務係直通)

FAX (0884) 22-4232(学生課)

<https://www.anan-nct.ac.jp/>

目 次

学生募集要項

I 募集人員	1
II 選抜方法	1
III 推薦による選抜	2
IV 学力による選抜	6
V AOによる選抜	9
VI その他	12
1 検定料の返還について	12
2 入試情報の開示について	12
3 個人情報の取扱いについて	12
4 入学手続	12
5 連絡先	12

入 学 案 内

1 設置目的	13
2 専攻科のアドミッション・ポリシー	13
3 入学定員	13
4 学習・教育到達目標	13
5 各コースの内容	15
6 教育課程	16
7 修業年限及び修了要件等	19
8 入学当初に必要な諸経費	20
9 入学料・授業料免除	20
10 奨学金制度	20
11 修学支援新制度	20
12 学生寮	21
修了要件	22

添付書類（HPよりダウンロード）

- 1 専攻科入学願書（推薦・学力・AO）
- 2 受験票・写真票
- 3 専攻科調査書
- 4 推薦書（推薦）（推薦・社会人用）
- 5 志望理由書（推薦・学力）
- 6 自己推薦書（AO）
- 7 就学承諾書
- 8 検定料払込証明書（推薦・学力・AO）
- 9 あて名票
- 10 検定料の納入について
- 11 専攻科出願書類提出用封筒

令和6年度 専攻科学生募集要項

I 募 集 人 員

創造技術システム工学専攻 16名

機械システムコース

電気電子情報コース

建設システムコース

応用化学コース

II 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力による選抜及びアドミッション・オフィス（AO）による選抜とし、下記のとおり実施します。

選 抜 区 分	選 抜 実 施 期 日	募 集 人 員
推薦による選抜	令和 5 年 5 月 20 日（土）	16名
学力による選抜	令和 5 年 7 月 1 日（土）	
AOによる選抜	令和 5 年 10 月 14 日（土）	若 干 名

※1 専攻科を修了するには、本校が定める教育プログラム「創造技術システム工学」の修了要件を満たす必要があります。ついては、本校卒業者及び本校以外の卒業者（見込み者も含む）が出願する場合は、出願資格確認のため、必ず各選抜の定める日までに学生課（Tel. 0884-23-7142）に照会してください。

※2 本校専攻科では夜間または休日等の授業を設けていません。企業等に在職する方は、昼間の授業を受けられることが条件となります。

※3 「推薦による選抜」に不合格となった者で、「学力による選抜」を受験する者は、改めて「学力による選抜」の出願手続きを行ってください。

Ⅲ 推薦による選抜

1 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、出身（在籍）学校長の推薦を得た者もしくは所属する企業等の長の推薦を得た者で、(9)～(12)を満たしている者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む）のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む）
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む）
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む）
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 高等専門学校の1年次から4年次までの学業成績の平均が上位50％程度以内の者または4年次の学業成績が上位50％程度以内の者（高等専門学校以外からの受験については事前に問い合わせを行ってください）
- (10) 出願日前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったTOEIC公開テスト又はTOEIC I Pテストにおいて375点以上の成績を有する者、又は実用英語技能検定2級以上の成績を有する者、又は技術英語能力検定2級（工業英語能力検定3級）以上の成績を有する者
- (11) 学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (12) 合格した場合、入学する意志が強固である者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和5年5月10日（水）から令和5年5月12日（金）まで 郵送の場合は、令和5年5月12日（金）17時必着とします。
時 間	9時00分から16時30分まで
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎0884 - 23 - 7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したものとしします。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、 厳封したものとしします。 (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校長が 作成し、厳封したものとしします。 (3) 英語証明書：TOEIC 公開テスト、TOEIC IP テストは出願日 前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け 取ったスコアがわかる証明書等の写しとしてください。 実用英語技能検定、技術英語能力検定（工業英語能力検定） は級がわかる証明書等の写しとしてください。
推 薦 書	本校所定の用紙に「出身（在籍）学校長」又は「所属する企業 等の長」が作成したものとしてください。
志望理由書	本校所定の用紙に出願者が作成してください。
入学検定料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最寄り の金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金による検 定料の受付はできませんので注意してください）本校以外から の出願者は、出願資格の確認後に検定料の振込をしてください。 ＊ 別紙の「 検定料の納入について 」を参照してください。
受 験 票 返信用封筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84 円切手を貼付して く ださい。自宅外の者は〇〇方を記入してください。封筒は、 長形 3 号（120 mm×235 mm）封筒とします。また、速達を希望する場合には、 374 円切手を貼付してください。 ただし、願書を持参した場合には不要です。
あて名票	本校所定の用紙に、可否通知書を受ける住所、郵便番号、氏名 等を 記入してください。自宅外の者は〇〇方を記入してください。
そ の 他	外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出してください。

* 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 本校以外から出願する者は、あらかじめ確認が必要です。令和5年4月12日（水）までに本校学生課に相談してください。

（３）入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

阿南工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、令和5年4月12日（水）までに阿南高専学生課相談窓口までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、当期限を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料提出の要不要に関しては相談窓口までご相談ください。

ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧め

します。入試後、または入学後に初めて合理的配慮に関して申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられない可能性があります。なお、事前相談は、入学者選抜試験の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口（担当係名） 学生課課長補佐

（電話番号） 0884-23-7142

（F A X） 0884-22-4232

（MA I L） g-hosa@anan-nct.ac.jp

3 選抜方法・日時等

推薦による選抜検査は、推薦書、調査書（TOE I C、又は実用英語技能検定、又は技術英語能力検定の成績を含む）、小論文及び面接により総合的に行います。

小論文及び面接では、アドミッションポリシーに照らして、技術者としての素養や適性を確認します。

（1）日 時 令和5年5月20日（土）

受 付 9:30 ～ 9:40

小論文 10:00 ～ 11:00

面 接 11:30 ～

（2）場 所 阿南工業高等専門学校

*「受験票」を必ず携行してください。

4 合格者の発表

令和5年5月25日（木）午前10時、本校に掲示するとともに本校ホームページにも掲載します。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとします。また、推薦者宛に可否を文書で通知し、併せて受験者全員に「選抜結果」の通知を発送します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切応じません。

5 入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」を令和5年6月1日（木）17時までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出してください。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱います。

6 「推薦による選抜」で不合格となった者の「学力による選抜」の受験

「推薦による選抜」に不合格となった者で、「学力による選抜」の受験を希望する者は、改めて「学力による選抜」の出願手続きを行ってください。**ただし、調査書等（成績証明書、英語証明書を含む）及び志望理由書は提出する必要はありません。入学検定料を納付後、「検定料払込証明書」等と「入学願書」を提出してください。**該当者には選抜結果とともに詳細を送付しますので、確認してください。

IV 学力による選抜

1 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、(9)を満たしている者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和 6 年 3 月卒業見込みの者を含む）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和 6 年 3 月卒業見込みの者を含む）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第 58 条の 2（同法第 70 条第 1 項及び第 82 条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 出願日前 2 年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取った TOEIC 公開テスト又は TOEIC I P テストにおいて 300 点以上の成績を有する者、又は実用英語技能検定準 2 級以上の成績を有する者、又は技術英語能力検定 3 級（工業英語能力検定 4 級）以上の成績を有する者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和 5 年 6 月 21 日（水）から令和 5 年 6 月 23 日（金）まで 郵送の場合も、令和 5 年 6 月 23 日（金）17 時必着とします。
時 間	9 時 00 分から 16 時 30 分まで
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎0884 - 23 - 7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦 4 cm×横 3 cm）で、出願日以前 3 ヶ月以内に撮影したものとしします。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、厳封したものとしします。 (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校長が作成し、厳封したものとしします。 (3) 英語証明書：TOEIC 公開テスト，TOEIC IP テストは出願日前 2 年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取ったスコアがわかる証明書等の写しとしてください。 実用英語技能検定，技術英語能力検定（工業英語能力検定）は級がわかる証明書等の写しとしてください。
志 望 理 由 書	本校所定の用紙に出願者が作成してください。
入学検定料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金による検定料の受付はできませんので注意してください）本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振込をしてください。 ＊ 別紙の「 検定料の納入について 」を参照してください。
受験票 返信用封筒	出願者の郵便番号，住所，氏名を明記し，84 円切手を貼付してください。自宅外の者は〇〇方を記入してください。封筒は，長形 3 号（120 mm×235 mm）封筒としします。また，速達を希望する場合には，374 円切手を貼付してください。 ただし，願書を持参した場合には不要です。
あて名票	本校所定の用紙に，可否通知書を受ける住所，郵便番号，氏名等を記入してください。自宅外の者は〇〇方を記入してください。
そ の 他	企業に所属する者は，所属長が記載した就学承諾書（本校所定）を提出してください。 外国人は，市区町村長の交付する住民票を提出してください。

* 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合，入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は，必ず「書留郵便」とし，封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 受理した書類は，いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 本校以外から出願する者は，あらかじめ確認が必要です。令和 5 年 5 月 22

日（月）までに本校学生課に相談してください。

（３）入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

4ページの「(5)入学者選抜に関する合理的配慮の提供について」を参照ください。

なお、合理的配慮を希望する場合、5月22日（月）までに本校学生課相談窓口にご相談してください。

３ 選抜方法・日時等

学力による選抜検査は、数学の筆記試験、調査書（TOEIC、又は実用英語技能検定、又は技術英語能力検定の成績を含む。）及び面接により総合的にを行います。

面接では、アドミッションポリシーに照らして、技術者としての素養や適性を確認します。

- (1) 日 時 令和5年7月1日（土）
受 付 9:30 ～ 9:40
数 学 10:00 ～ 11:30
面 接 12:40 ～

- (2) 場 所 阿南工業高等専門学校

＊「受験票」を必ず携行してください。

４ 合格者の発表

令和5年7月10日（月）午前10時、本校に掲示するとともに本校ホームページにも掲載します。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとします。また、受験者全員に「選抜結果」の通知を送ります。

なお、電話による可否の問い合わせには一切応じません。

５ 入学確約書・合格辞退届の提出

合格通知を受けた者で本校に入学の意思がある者は「入学確約書」を、入学の意思がない者は「合格辞退届」を令和5年7月28日（金）17時までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出してください。

６ 追加合格について

合格者の中で基準日（確約書等提出期限：令和5年7月28日）までに合格辞退届の提出があった場合、基準日以降、追加合格候補の上位から入学意思確認を行い、追加合格者を決定します。

V ＡＯによる選抜

ＡＯ選抜は、専攻科が求める技術者に成り得る優れた能力を有するかを審査するものです。

書類審査では、自己推薦書をもとに志願者の入学後の学習意欲や複合的な課題に対する解決能力を有しているかを判定します。また、面接審査では自己推薦書の内容についてプレゼンテーションをしていただき、技術者としての可能性や資質について判定し、また、アドミッションポリシーとの適合性を確認します。

１ 出 願 資 格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、(9)～(12)を満たしている者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和 6 年 3 月卒業見込みの者を含む）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和 6 年 3 月卒業見込みの者を含む）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第 58 条の 2（同法第 70 条第 1 項及び第 82 条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者（令和 6 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 1 年次から 4 年次までの学業成績の平均が上位 50％程度以内の者または 4 年次の学業成績が上位 50％程度以内の者（高等専門学校以外からの受験については事前に問い合わせを行ってください）
- (10) 出願日前 2 年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け取った T O E I C 公開テスト又は T O E I C I P テストにおいて 375 点以上の成績を有する者、又は実用英語技能検定 2 級以上の成績を有する者、又は技術英語能力検定 2 級（工業英語能力検定 3 級）以上の成績を有する者
- (11) 学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (12) 合格した場合、入学する意志が強固である者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

期 間	令和5年10月3日（火）から令和5年10月5日（木）まで 郵送の場合も、令和5年10月5日（木）必着のこと。
時 間	9 時 00 分から 16 時 30 分まで
場 所	阿南工業高等専門学校 学生課 〒774-0017 阿南市見能林町青木 265 ☎0884 - 23 - 7130

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 写真は、上半身・正面向・脱帽・無背景（縦4 cm×横3 cm）で、出願日以前3ヶ月以内に撮影したものとしします。
調 査 書 等	(1) 調査書：本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、 厳封したものとしします。 (2) 成績証明書：出身学校所定の用紙を使用して当該学校長が 作成し、厳封したものとしします。 (3) 英語証明書：TOEIC 公開テスト、TOEIC IP テストは出願日 前2年以内に実施され、出願日までに正式な結果通知を受け 取ったスコアがわかる証明書等の写しとしてください。 実用英語技能検定、技術英語能力検定（工業英語能力検定） は級がわかる証明書等の写しとしてください。
自 己 推 薦 書	本校所定の用紙に出願者が作成してください。
入 学 検 定 料 (振込金証明書)	入学検定料 16,500 円（本校所定の振込用紙を用いて、最寄りの金融機関の受付窓口から振り込んでください。現金による検定料の受付はできませんので注意してください）本校以外からの出願者は、出願資格の確認後に検定料の振込をしてください。 ＊ 別紙の「 検定料の納入について 」を参照してください。
受 験 票 返信用封筒	出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84 円切手を貼付してください。自宅外の者は〇〇方を記入してください。封筒は、長形3号（120 mm×235 mm）封筒とします。また、速達を希望する場合には、374 円切手を貼付してください。 ただし、願書を持参した場合には不要です。
あて名票	本校所定の用紙に、合格通知書を受ける住所、郵便番号、氏名等を記入してください。自宅外の者は〇〇方を記入してください。
そ の 他	企業に所属する者は、所属長が記載した就学承諾書（本校所定）を提出してください。 外国人は、市区町村長の交付する住民票を提出してください。

* 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 本校以外から出願する者は、あらかじめ確認が必要です。令和5年9月4日（月）17時までに本校学生課に相談してください。

（３）入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

4ページの「（５）入学者選抜に関する合理的配慮の提供について」を参照ください。なお、合理的配慮を希望する場合、9月4日（月）17時までに本校学生課に相談してください。

3 選抜方法・日時等

ＡＯによる選抜検査は、自己推薦書、調査書（TOEIC、又は実用英語技能検定、又は技術英語技能検定の成績を含む）及びプレゼンテーション（発表10分、質疑応答10分）により総合的に行います。パワーポイントを用いる場合は、持参したコンピュータを使用してください。プロジェクター（HDMI ケーブル、D-Sub15 ピンコネクタ）は本校が用意します。

プレゼンテーションでは、アドミッションポリシーに照らして、技術者としての素養や適性を確認します。

- | | | |
|------|-----------|---------------------|
| （１）日 | 時 | 令和5年10月14日（土） |
| | 受付 | 9:30 ～ 9:40 |
| | プレゼンテーション | 10:00 ～ |
| （２）場 | 所 | 阿南工業高等専門学校 |
| | | * 「受験票」を必ず携行してください。 |

4 合格者の発表

令和5年10月19日（木）午前10時、本校に掲示するとともに本校ホームページにも掲載します。ホームページの内容と本校に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとします。また、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話による可否の問い合わせには一切応じません。

5 入学確約書の提出

合格通知を受けた者では「入学確約書」を、令和5年10月26日（木）17時までに阿南工業高等専門学校学生課へ提出してください。

なお、所定の期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がな

い者として取り扱います。

IV その他

1 検定料の返還について

納付された検定料については次の場合を除き返還請求できません。

- ・ 検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・ 検定料を重複で納付した場合

2 入試情報の開示について

情報公開法の施行に基づき、選抜結果について、請求があれば開示します。

なお、個人情報や入試の適正な実施に著しく支障が生じる情報等、開示できない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

3 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

4 入 学 手 続

合格者には、令和6年2月下旬頃別途通知します。

5 連 絡 先

募集要項に関して不明な点は、下記まで照会してください。

阿南工業高等専門学校 学生課課長補佐

〒 774-0017 徳島県阿南市見能林町青木 265 番地

T E L (0884) 23 - 7142

F A X (0884) 22 - 4232

入 学 案 内

1 設 置 目 的

高専の科学の知識と技術をさらに深めたい学生のため、より高度な技術者教育を行うことを目的として、2年間の教育課程である専攻科があります。阿南高専には平成8年4月に専攻科が設置されました。

2 専攻科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

専攻科は、専門分野における確固たる知識を基盤に、幅広い工学分野において、その知識を創造的かつ実践的に活用できる可能性をもつエンジニアを養成します。そのために必要な、次のような素養を持つ人物を求めています。

- (a) 国際人としての教養
- (b) 社会・自然への責任感と倫理観
- (c) 知識・技能を身に付け、問題を発見・解決する能力
- (d) 幅広いコミュニケーション能力
- (e) 主体性を持って多様な人々と協働して学習する能力
- (f) 「ものづくり」につながる創造的思考力

3 入 学 定 員

創造技術システム工学専攻 16名

機械システムコース

電気電子情報コース

建設システムコース

応用化学コース

4 学 習 ・ 教 育 到 達 目 標

現在の産業界では、今日的問題である環境問題に対する知識・技術者特有の倫理的思考及び国際的な視野に基づいた見識を有したうえで、工学の多岐にわたる分野の知識と技術とを用いて、工学の融合複合分野において独創的な技術開発を進めることのできる技術者が求められています。

機械・電気電子・情報・建設・化学等のあらゆる工学を対象として、それらの分野に関連する専門技術や工学一般の知識を広く学び、その知識の定着を目指します。そのうえで、自己の得意分野を核としてもち、学んだ専門技術や工学知識をシステムとして幅広く有機的に活用できる方法論・実践力を養成する教育を行います。したがって、本校が目指す自立した技術者像と学習・教育到達目標は以下のようになります。

「専門分野に関する確固たる知識をベースとして持ち、その方法論・実践力を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる技術者」を養成します。

国際人としての教養を身につけ、人間社会や自然環境に対して責任感及び倫理観をもつ技術者

- (A)-1: 世界的視野から日本の文化、社会並びに他国の文化、社会を複眼的にとらえて、両者のあるべき関係について説明できる。
- (A)-2: 人間社会に対する技術者としての責任を自覚し、自己の倫理観を説明できる。
- (A)-3: 自然環境を考慮した技術開発を進めるための問題点を説明できる。

社会が要求している問題を見出し、数学・自然科学・情報技術を利用しながら問題解決を計画的に遂行できる技術者

- (B)-1: 社会が要求している問題を見出せる。
- (B)-2: 数学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (B)-3: 自然科学に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。
- (B)-4: 情報技術に関する知識を応用して問題解決を遂行できる。

論理的に記述・討論ができ、専門分野において国際的にコミュニケーションがとれ、表現力豊かに口頭発表ができる技術者

- (C)-1: 科学技術論文を作成できる。
- (C)-2: 自分の研究成果を聴講者にわかりやすく口頭発表でき、論理的な討論できる。
- (C)-3: 英語によるコミュニケーションができ、専門分野において英語による口頭発表ができる。

(D1)幅広い専門分野の技術や知識を主体的かつ継続的に学習する習慣を身につけて、(D2)複合的な技術開発を遂行する能力をもった技術者

- (D)-1: 設計・システム系、情報論理系、材料バイオ系、力学系を含む工学の基礎となる幅広い学問分野について、主体的かつ継続的に学習できる。
- (D)-2: 専門分野における工学的問題の解決を通じて、その専門技術と知識の統合及び研鑽を主体的かつ継続的に積み重ねられる。
- (D)-3: 他の専門分野の知識も身につけ、複合的な視野で問題点を把握できる。
- (D)-4: 技術開発を進めるに際して、安全、環境について配慮すべき事柄を認識し、説明できる。

(E1)「ものづくり」を重視して、(E2)技術的構想や創造的思考を実現させるためのデザイン能力を有する技術者

- (E)-1: ものづくりの課題を自ら設定し、デザイン能力を活かして解決する方法を考案・具現化できる。
- (E)-2: 課題を自らまたは専門が異なる人と協働して計画的に解決できる。
- (E)-3: 工学知識や技術を統合し、技術的構想や創造的思考を特別研究としてまとめられる。

5 各コースの内容

☆機械システムコース

機械システム工学は、ものをつくる技術とそのための原理や機構，方法論を研究対象とし，現代社会の「ものづくり」の基盤を支える学問分野です。機械システムコースでは，材料，力学，加工，設計の知識を身につけ，実験や演習を通して実践的な応用力を培うことにより，機械，電機，エネルギーをはじめとする様々な産業分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆電気電子情報コース

電気電子工学及び情報工学は，現代社会を支えかつ発展させていくための基盤となる学問です。電気電子情報コースではこの両分野を統合したカリキュラムに基づいて教育・研究を行うため，本科において各々の分野の基礎を身に付けた学生が一緒に学び，お互いに知識・能力を高め合い，両分野の専門基礎力を幅広く身につけることができます。さらに電気回路やデジタル回路，ロボット制御，計測，プログラミングなどの実験や演習を通して実践的な応用力を培うことにより，エレクトロニクス，電子デバイス，ソフトウェアをはじめとする様々な産業分野において幅広く活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆建設システムコース

建設システム工学は，社会基盤の構築，整備や防災，減災など人々が安全に安心して暮らせる街づくりを支える学問です。建設システムコースでは，建設工学分野の基礎的知識とともに，都市・交通計画，環境，防災など幅広い分野の知識を身につけ，実験や実習を通して実践的な応用力を培うことにより，官公庁，建設，環境，インフラストラクチャーをはじめとする社会基盤の整備に関わる様々な分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

☆応用化学コース

応用化学は，人間の生活を豊かにする新しい物質とその循環についての研究・開発をするための基盤となる学問です。応用化学コースでは，工学系化学分野における有機・無機化学材料，化学工学，環境化学，物理化学の知見を身につけ，実験や演習を通して実践的な応用力を培うことに重点を置いています。また，21世紀に工学系化学技術者として活躍できるよう，物性化学，有機合成化学などのモダン化を推進したカリキュラム編成を行っており，材料開発，化学プラントをはじめとする様々な化学産業の分野で活躍できるエンジニアの養成をめざしています。

6 教育課程

(1) 共通

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
一 般 科 目	必修科目	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	2	
		英 語 講 読	2	2	
		技 術 者 倫 理	2	2	
		比 較 文 化 論	2	2	
		小 計	8	4	4
	選択科目	言 語 と 文 学	2	2	
		生 物 科 学	2	2	
		小 計	4	2	2
	合 計		12	6	6
専 門 共 通 科 目	必修科目	創造設計工学演習（副専攻演習）	2	2	
		安 全 衛 生 工 学	2	2	
		環 境 政 策 論	2	2	
		解 析 学	2	2	
		情 報 処 理 演 習	1	1	
		複 合 領 域 ゼ ミ ナ ー ル	2	2	
		創造技術システム工学特別研究 1	6	6	
		創 造 工 学 セ ミ ナ ー	1	1	
		創 造 工 学 演 習	2	2	
		創造技術システム工学特別研究 2	10	10	
		小 計	30	17	13
	選択科目	線 形 代 数 学	2	2	
		統 計 熱 力 学	2	2	
		環 境 工 学 特 論	2	2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 1	1	1	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 2	2	2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 3	3	3	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ 4	4	4	
		物 理 学 特 論	2	2	
		応 用 解 析 学	2	2	
		小 計	20	16	4
	合 計		50	33	17
一 般 ・ 専 門 共 通 科 目 合 計		62	39	23	

学修総まとめ科目

インターンシップ1
～4のいずれか1科目
目を修得すること

小計は履修可能単位数を示す

合計は履修可能単位数を示す

合計は履修可能単位数を示す

(2)機械システムコース

(令和5年度以降の入学生に適用)

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	流 体 の 力 学	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	材 料 強 度 学	2		2	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	機 器 分 析	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	応 用 地 盤 工 学	2	2		
	シ ー ケ ン ス 制 御	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	小 計	18	10	8	
合 計		26	14	12	

(3)電気電子情報コース

区分	授 業 科 目	単位数	1 年	2 年	備 考
必修科目	電 子 デ バ イ ス 工 学	2	2		
	シ ー ケ ン ス 制 御	2	2		
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	電 気 電 子 情 報 工 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	機 器 分 析	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流 体 の 力 学	2	2		
	電 気 回 路 解 析	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	半 導 体 物 性	2		2	
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	現 代 制 御 工 学	2		2	
	電 子 計 測 工 学	2		2	
	小 計	22	12	10	
合 計		30	16	14	

(4)建設システムコース

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	応 用 地 盤 工 学	2	2		
	防 災 工 学	2	2		
	応 用 構 造 力 学	2		2	
	建 設 シ ス テ ム 工 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	機 器 分 析	2	2		
	材 料 加 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	流 体 の 力 学	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	材 料 強 度 学	2		2	
	都 市 環 境 工 学	2		2	
	環 境 化 学	2	2*	2※	
	小 計	20	8※, 10*	12※, 10*	隔年開講
合 計※		28	12※, 14*	16※, 14*	

※奇数年度入学生に適用

*偶数年度入学生に適用

(5)応用化学コース

区分	授 業 科 目	単位数	1年	2年	備 考
必修科目	機 器 分 析	2	2		隔年開講
	有 機 合 成 化 学	2	2※	2*	
	物 性 化 学	2	2*	2※	
	応 用 化 学 実 験	2		2	
	小 計	8	4	4	
選択科目	材 料 加 工 学	2	2		隔年開講
	電 子 デ バ イ ス 工 学	2	2		
	シミュレーション工学	2	2		
	無 機 化 学 特 論	2	2※	2*	
	電 気 回 路 解 析	2	2		
	信 号 処 理 工 学	2		2	
	電 気 情 報 数 学	2		2	
	複 合 材 料 学	2		2	
	材 料 強 度 学	2		2	
	半 導 体 物 性	2		2	
	環 境 化 学	2	2*	2※	隔年開講
	小 計	22	10	12	
合 計		30	14	16	

※奇数年度入学生に適用

*偶数年度入学生に適用

7 修業年限及び修了要件等

(1) 修業年限 2年

ただし、職業を有している等の事情により、2年を超えて計画的に教育課程を履修し、修了することを認められた者にあつては別に定める年限。

(2) 修了要件

修了要件(22ページを参照)の要件(1)～(3)、(5)～(9)を全て満たし、かつ、学位取得に係る学修総まとめ科目履修計画書又は学修成果(レポート)を独立行政法人大学改革支援・学位授与機構(以下「学位授与機構」という。)に提出していること。学修総まとめ科目とは、専攻科の2年生に配当された創造システム工学特別研究2である(以下同じ。))。

(3) 学士の学位の取得方法

学士の学位は、本校の専攻科を修了見込みで、特例適用申請により学修総まとめ科目の履修計画書と成果の要旨を大学改革支援・学位授与機構に提出すれば修了時に学士の学位が授与されます。また、特例が適用されない場合は、学修成果レポートの審査と小論文試験に合格することで学士の学位が授与されます。なお、学士の学位の授与を申請するときは学位審査料が必要です。

(4) 他の高等教育機関において修得した単位の認定(以下「単位認定」という。)

本校以外の出身者で本校専攻科に入学した場合、本校専攻科入学前の出身校において修得した単位については、本人の申請に基づき、次の①～③に示す基準に沿って本校専攻科運営委員会等が実施する単位認定審査の上、「創造技術システム工学」教育プログラムの修得単位とみなすことができます。

① 単位認定の対象となる科目

単位認定の申請が可能な科目は、出身校において修得した科目のうち、本校の本科4、5年次に相当する学年において修得した科目とします。また、認定を受けようとする科目は、「創造技術システム工学」教育プログラム上の科目(ただし本校専攻科で開講している科目は除く。)とします。

② 出身校が JABEE 認定校である場合

修得した科目に対し、出身校のシラバスのコピーを提出し、それに基づいて下記判定を行います。

- ・ 修得科目を本校教育プログラムが規定した別表に掲げられた科目群の定義に従って分類し、分類された科目群の単位として出身校の単位をそのまま認定します。
- ・ 修得科目の学習・教育目標における獲得ポイントを本校教育プログラムが規定した表2に掲げられた学習・教育目標と JABEE 科目との関係の定義に従って算定し、その点数をそのまま認定します。

③ 出身校が JABEE 認定校以外の場合

修得した科目に対し、出身校のシラバスのコピーを提出し、それに基づいて下記判定を行います。

- ・ 本校教育プログラムが要求する教育目標とレベルを満足しているかどうかの観点から、出身校のシラバスに基づいて修得科目の適格性を判定します。
- ・ 適格と判定された修得科目を本校教育プログラムが規定した別表に掲げられた科目群の定義に従って分類し、分類された科目群の単位としてそのまま認定

します。

- ・ 適格と判定された修得科目の学習・教育目標における獲得ポイントを本校教育プログラムが規定した別表に掲げられた学習・教育目標と JABEE 科目との関係の定義に従って算定し、その点数をそのまま認定します。

8 入学当初に必要な諸経費（前年度実績）

- (1) 入 学 料 84,600 円
- (2) 授 業 料 117,300 円（前期分）

＊授業料については、年額 234,600 円を納入する。後期分は、令和 5 年 10 月 1 日～令和 5 年 10 月 31 日までに納入する。ただし、希望により一括（年額）納入することができる。

＊在学中に授業料が改定された場合は、改定後の額となる。

- (3) 学生会入会金 （本校出身者は免除）2,000 円
- (4) 学生会費 2,500 円（前期分、なお、後期分は 3,000 円）
- (5) 教科書購入費 令和 6 年 3 月上旬に使用教科書等が決定次第通知する。
- (6) 後援会入会金 （本校出身者は免除）10,000 円
- (7) 後援会費 6,000 円（前期分、なお、後期分は 6,000 円）

9 入学料・授業料免除

(1) 入学料免除

入学前 1 年以内において、学資負担者が死亡した場合、または、学資負担者が風水害等の災害を受けたり、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には選考の上、入学料の全額もしくは半額を免除する制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認めた者、または、授業料の各期の納付期限前 6 月以内において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者には選考の上、授業料の全額もしくは半額を免除する制度があります。

10 奨 学 金 制 度

日本学生支援機構の規程に基づき、学業・人物とも優れ、健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

また、地方公共団体、各種奨学会の行う奨学制度もあります。

11 高等教育の修学支援新制度

令和 2 年 4 月から修学支援新制度がスタートしています。

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が給付され、入学料及び授業料が減免される制度があります。詳細は日本学生支援機構HPをご覧ください。進学のための資金計画を立てる際のシミュレーションをすることができる「進学資金シミュレーター」が掲載されています。

12 学生寮（前年度実績）

学生寮に空室ができた場合、希望者は、選考の上、学生寮に入寮できます。
＊経費（月額）は、約 40,000 円程度（寄宿料，食費，光熱水料費等）です。

修了要件（ディプロマポリシー）

本教育プログラムの修了者は、以下に掲げる要件を全て満たす必要があります。

- (1) 全ての必修科目の単位を修得していること。
- (2) 学則第 36 条第 1 項に規定（62 単位以上）するほか、一般科目については 8 単位以上、専門共通科目についてはインターンシップを除いて 30 単位以上、各コースの科目については 12 単位以上を修得していること。
- (3) 学位取得のための次の基準を満たしていること。学位取得のために大学改革支援・学位授与機構に申請する各専攻区分の専門科目（以下この号において同じ。）及び関連科目は、別に定める。
 - ・専門科目（学修総まとめ科目を含む。）を 31 単位以上修得していること。
 - ・専門科目（学修総まとめ科目を含めない。）及び関連科目で 40 単位以上を修得していること。
- (4) 学位（学士）を取得していること。^(注1)
- (5) 本科 4 年次から専攻科 2 年次に配当された科目を 124 単位以上修得していること（ただし、学外単位は除く）
- (6) JABEE 科目のうち、次の各科目群から 1 科目以上、合計 6 科目以上の単位を修得していること。
 - ・設計・システム系科目群
 - ・情報・論理系科目群
 - ・材料・バイオ系科目群
 - ・力学系科目群
 - ・社会技術系科目群
- (7) 本校教育プログラムで規定した学習・教育到達目標と JABEE 科目との関係（配点ポイント数を含む。）について、学習・教育到達目標（D1）、（D2）、（E1）、（E2）における獲得ポイントが、それぞれ 20 ポイント以上であること。
- (8) 特別研究内容に関連する学外の学会等において研究成果を発表していること。
- (9) 全ての学習・教育到達目標について、その目標が達成できていること。^(注2)

（注 1） 要件(4)において、本教育プログラム修了生となるためには、大学改革支援・学位授与機構から学位を取得しなければなりません。

（注 2） 要件(9)の達成度の評価は、チェックシートにより行います。

別表 科目群と教育プログラム修了要件との関連性(令和4年度)

本 科 M:機械コース E:電気コース I:情報コース C:建設コース Z:化学コース
専攻科 AM:機械システムコース AE:電気電子情報コース AC:建設システムコース AZ:応用化学コース

	群	科 目 名	単位数	開講コース 専攻	学年	専攻科 必修 科目	分野(融合複合新領域)と JABEE修了要件	本校教育到達目標と科目との関係 ◎密接に関係する ○やや関係する						
								(A)	(B)	(C)	(D)		(E)	
											(D1) 継続し て専門技術 や知識を学 習する習慣	(D2) 複合的 な技術開発 を進められ る能力	(E1) 「もの 作り」を重 視	(E2) 技術的 構想や創造 的思考を実 現させるた めのデザイ ン能力
人文科学、 社会科学等 (語学教育を 含む。)	Ⅰ 群	英語コミュニケーション	2	専攻科全	1	○		○		○				
		技術者倫理	2	専攻科全	1	○		○			○			○
		英語講義	2	専攻科全	2	○		○						
		比較文化論	2	専攻科全	2	○		○						
		言語と文学	2	専攻科全	2			○						
		英語総合1	2	本 科 全	4			○						
		法学	2	本 科 全	4			○						
		哲学	2	本 科 全	4			○						
		英語の語彙・文法1	1	本 科 全	4			○		○				
		英語の語彙・文法2	1	本 科 全	4			○		○				
		英語総合2	2	本 科 全	5			○		○				
		日本語コミュニケーション	2	本 科 全	5			○		○				
		日本文学	2	本 科 全	5			○		○				
		第二外国語入門	1	本 科 全	5			○		○				
数学、 自然科学、 情報技術	Ⅱ 群	線形代数学	2	専攻科全	1				○		○			
		統計熱力学	2	専攻科全	1			○		○		○		
		解析学	2	専攻科全	1	○		○		○		○		
		物理学特論	2	専攻科全	2			○		○		○		
		応用解析学	2	専攻科全	2			○		○		○		
		物理学基礎	2	本 科 全	4			○		○				
		確率統計	2	本 科 全	4			○		○				
		工業力学	2	本 科 M	4			○		○				
		電磁気学	2	本 科 M	4			○		○				
		プログラミング実習	1	本 科 E	4			○		○			○	
		機械学習基礎	2	本 科 I	4			○		○			○	
		離散数学	2	本 科 C	5			○		○				
		電磁気学	2	本 科 C	4			○		○				
		基礎物理学	2	本 科 Z	4			○		○				
電磁気学	2	本 科 Z	4		○		○							
専門分野	(1)基礎工学の知識・能力													
	Ⅲ 群	創造設計工学演習(副専攻演習)	2	専攻科全	1	○	① 設計・システム系科目群	○	○	○	○		○	○
		機械設計製図2	2	本 科 M	4					○		○	○	○
		機械設計製図3	2	本 科 M	4					○		○	○	○
		計測工学	2	本 科 M	4					○		○	○	○
		自動制御	2	本 科 M	5					○		○	○	○
		基礎物理学	2	本 科 E	4					○		○	○	○
		制御工学1	2	本 科 E	4					○		○	○	○
		電子回路設計製作実習	2	本 科 E	4					○		○	○	○
		制御工学2	2	本 科 E	5					○		○	○	○
		システム設計1	2	本 科 I	4					○		○	○	○
		システム設計2	2	本 科 I	4					○		○	○	○
		構造設計製図	1	本 科 C	4					○		○	○	○
		構造設計製図	1	本 科 C	5					○		○	○	○
		物理化学3	2	本 科 Z	4					○		○	○	○
		有機化学2	2	本 科 Z	4					○		○	○	○
	無機化学2	2	本 科 Z	4				○		○	○	○		
	固体物理	2	本 科 Z	5				○		○	○	○		
	Ⅳ 群	情報処理演習	1	専攻科全	1	○	② 情報・論理系科目群		○		○		○	○
		信号処理工学	2	専攻科全	2			○		○		○		○
		電気情報数学	2	専攻科全	2	AE○		○		○		○		○
		機器分析	2	専攻科全	1	AZ○		○		○		○		○
		メカトロニクス	2	本 科 M	4					○		○		○
		情報処理2	2	本 科 M	5			○	○			○		○
		通信工学理論	2	本 科 E	5					○		○		○
		ディジタル信号処理	2	本 科 I	4					○		○		○
		電子回路1	2	本 科 I	4					○		○		○
		情報数学	2	本 科 I	4			○		○		○		○
		計算機工学	2	本 科 I	4					○		○		○
		電子回路2	2	本 科 I	5					○		○		○
		コンパイラ	2	本 科 I	5					○		○		○
		プログラミング2	1	本 科 C	4					○		○		○
		分析化学	2	本 科 Z	4					○		○		○
	基礎プログラミング	2	本 科 Z	4				○		○		○		
	Ⅴ 群	生物科学	2	専攻科全	1		③ 材料・バイオ系科目群	○		○		○		○
		材料加工学	2	専攻科全	1	AM○				○		○		○
		複合材料学	2	専攻科AM	2					○		○		○
		材料強度学	2	専攻科AM	2	○				○		○		○
		半導体物性	2	専攻科AE	2					○		○		○
		複合材料学	2	専攻科AC	2					○		○		○
		材料強度学	2	専攻科AC	2					○		○		○
		有機合成化学	2	専攻科AZ	1	○				○		○		○
		複合材料学	2	専攻科AZ	2					○		○		○
		材料強度学	2	専攻科AZ	2					○		○		○
		半導体物性	2	専攻科AZ	2					○		○		○
		材料選択の科学	2	本 科 M	5					○		○		○
		塑性加工工学	2	本 科 M	5					○		○		○
		電気電子材料	2	本 科 E	4					○		○		○
		半導体電子工学	2	本 科 E	4					○		○		○
	Ⅵ 群	材料学1	1	本 科 C	4		④ 力学系科目群			○		○		○
		材料学2	2	本 科 C	4					○		○		○
		材料工学	2	本 科 Z	5					○		○		○
		高分子化学	2	本 科 Z	5					○		○		○
		半導体工学	2	本 科 Z	5					○		○		○
		シミュレーション工学	2	専攻科全	1			○		○		○		○
		流体の力学	2	専攻科AM	1	○				○		○		○
		応用構造力学	2	専攻科AM	2					○		○		○
		流体の力学	2	専攻科AE	1					○		○		○
		応用構造力学	2	専攻科AE	2					○		○		○
		流体の力学	2	専攻科AC	1					○		○		○
		応用構造力学	2	専攻科AC	2	○				○		○		○
		機械力学2	2	本 科 M	4			○		○		○		○
		材料力学2	2	本 科 M	4					○		○		○
		水力学1	2	本 科 M	4					○		○		○
	水力学2	2	本 科 M	4				○		○		○		
	熱力学1	2	本 科 M	4		○		○		○		○		
	熱力学2	2	本 科 M	4				○		○		○		
	材料力学3	2	本 科 M	4				○		○		○		
	流体力学	2	本 科 M	5				○		○		○		
	熱力学	2	本 科 E	4		○		○		○		○		
	工業力学	2	本 科 E	4		○		○		○		○		
	工業力学	2	本 科 I	4		○		○		○		○		
	熱力学	2	本 科 I	4		○		○		○		○		
	数値計算	2	本 科 I	4		○		○		○		○		
	工業力学	2	本 科 C	4		○		○		○		○		
	地盤工学	2	本 科 C	4		○		○		○		○		
	建設構造力学2	2	本 科 C	4		○		○		○		○		
	コンクリート構造学	2	本 科 C	5				○		○		○		
	建設構造力学3	1	本 科 C	5		○		○		○		○		
	物理化学4	2	本 科 Z	4				○		○		○		
	化学工学2	2	本 科 Z	4				○		○		○		
	化学工学3	2	本 科 Z	4				○		○		○		

	群	科目名	単位数	開講コース 専攻	学年	必修	分野(融合複合新領域)と JABEE修了要件	(A)	(B)	(C)	(D1)	(D2)	(E1)	(E2)		
専門分野	Ⅶ群	安全衛生工学	2	専攻科全	1	○	⑤社会技術系科目群	①)⑤の各系から少なくとも1科目、合計6科目以上		○		○	◎	◎		
		環境政策論	2	専攻科全	1	○			◎			◎				
		環境工学特論	2	専攻科全	1				◎			◎				
		都市環境工学	2	専攻科AC	2				◎	○		◎				
		環境生物工学	2	専攻科AC	2				◎			◎		○		
		環境生物工学	2	専攻科AZ	2				◎			◎		○		
		環境工学	2	本科M	5				◎			◎				
		環境工学	2	本科Z	4				◎	○		◎				
		生物工学	2	本科Z	5				◎			◎		○		
	(2)専門工学の知識・能力															
	Ⅷ群	シーケンス制御	2	専攻科AM	1							○	◎	○	○	
		応用地盤工学	2	専攻科AM	1							◎	◎			
		防災工学	2	専攻科AM	1				◎			◎	◎			
		現代制御工学	2	専攻科AE	2							◎	◎		◎	
		シーケンス制御	2	専攻科AE	1	○						◎	◎	○	○	
		防災工学	2	専攻科AE	1				◎			◎	◎			
		電気回路解析	2	専攻科AE	1							◎	◎			
		電子デバイス工学	2	専攻科AE	1	○						◎	◎	○	○	
		電子計測工学	2	専攻科AE	2							◎	◎		○	
		応用地盤工学	2	専攻科AC	1	○						◎	◎			
		防災工学	2	専攻科AC	1	○			◎			◎	◎			
		物性化学	2	専攻科AZ	2	○						◎	◎			
		無機化学特論	2	専攻科AZ	1							◎	◎	○		
		電子デバイス工学	2	専攻科AZ	1							◎	◎	○	○	
		電気回路解析	2	専攻科AZ	1							◎	◎			
		電子計測工学	2	専攻科AZ	2							◎	◎		○	
		機械工学ゼミナール	1	本科M	4							◎	◎		○	
		伝熱工学	2	本科M	5							◎	◎			
		電気磁気学3	2	本科E	4					◎			◎	○	◎	
		電子回路	2	本科E	4							◎	◎	○	◎	
		電気機器工学2	2	本科E	4							◎	◎			
		電子回路論	1	本科E	4							◎	◎	○	◎	
		電磁波工学	2	本科E	4							◎	◎			
		無線工学	2	本科E	4							◎	◎			
		半導体デバイス	2	本科E	5							◎	◎			
		パワーエレクトロニクス	1	本科E	5							◎	◎	○	○	
		情報通信ネットワーク	2	本科I	4							◎	◎		○	
		電子計測基礎	2	本科I	4							◎	◎	○	◎	
		オペレーティングシステム	2	本科I	4							◎	◎		◎	
		情報理論	2	本科I	4							◎	◎		◎	
		文献講読	2	本科I	4							◎	◎		◎	
		言語処理	2	本科I	5							◎	◎		◎	
		メディア情報処理	2	本科I	5							◎	◎		○	
		環境工学1	2	本科C	4					◎	◎		◎	◎		
		水工学	2	本科C	4							◎	◎			
		構造工学1	2	本科C	4							◎	◎			
		構造工学2	2	本科C	4							◎	◎			
		都市計画	2	本科C	4							◎	◎			
		地域計画	2	本科C	4							◎	◎			
		施工管理学	2	本科C	5							◎	◎			
		環境工学2	2	本科C	5							◎	◎			
		構造工学3	2	本科C	5						◎	◎	◎			
		生化学2	2	本科Z	4						◎		◎		○	
		量子化学1	2	本科Z	4								◎			
		量子化学2	2	本科Z	5								◎			
		量子化学3	2	本科Z	5								◎			
	Ⅸ群	機械システム工学実験	2	専攻科AM	2		○	(2)いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力				◎	◎	◎	◎	
		電気電子情報工学実験	2	専攻科AE	2		○					◎	◎	◎	◎	
		建設システム工学実験	2	専攻科AC	2		○				○	◎	◎	◎	◎	
		応用化学実験	2	専攻科AZ	2		○					◎	◎	◎	◎	
		機械工学実験1	4	本科M	4							◎	◎	◎		
		機械工学実験2	2	本科M	5							◎	◎	◎		
		電気電子工学実験3	4	本科E	4					◎		◎	◎	◎	○	
		電気電子工学実験4	3	本科E	5					◎		◎	◎	◎	◎	
		創造工学実習	2	本科E	5						◎		◎	◎	◎	
		データベース	2	本科I	4					◎		◎	◎	◎	◎	
		組み込みシステム応用実習	2	本科I	4							◎	◎	◎	◎	
		システム創造実習	2	本科I	5							◎	◎	◎	◎	
		水理実験	1	本科C	4							◎	◎	◎	◎	
		構造材料実験	2	本科C	4					○			◎	◎	◎	◎
		土質実験	2	本科C	4							◎	◎	◎	◎	
		環境実験	1	本科C	5					◎			◎	◎	◎	◎
		物質化学実験	2	本科Z	4						○		◎	◎	◎	◎
	Ⅹ群	創造工学ゼミナール	1	専攻科全	2		○	(3)工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し組み立て、解決する能力		◎	◎	○	◎	◎	◎	
		創造技術システム工学特別研究1	6	専攻科全	1		○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		創造技術システム工学特別研究2	10	専攻科全	2		○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		卒業研究	10	本科M	5					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		卒業研究	10	本科E	5					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		創造工学ゼミナール	2	本科I	4					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		卒業研究	10	本科I	5					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		卒業研究	10	本科C	5					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		卒業研究	10	本科Z	5					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	Ⅺ群	創造工学演習	2	専攻科全	2		○	(4)(工学)技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力		◎		◎	◎	◎	◎	
		複合領域ゼミナール	2	専攻科全	1		○			◎	◎	◎	◎		◎	
		インターンシップ1(注1)	1	専攻科全	1					◎		◎	◎	◎	◎	
		インターンシップ2(注1)	2	専攻科全	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		インターンシップ3(注1)	3	専攻科全	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		インターンシップ4(注1)	4	専攻科全	1					◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		共同教育	1	本科全	4				◎	○	◎	◎	◎			
		インターンシップ	1	本科M	4				◎	○	◎	◎	◎			
		インターンシップ	1	本科E	4				◎	○	◎	◎	◎			
		インターンシップ	1	本科I	4				◎	○	◎	◎	◎			
		インターンシップ	1	本科C	4				◎	○	◎	◎	◎			
		インターンシップ	1	本科Z	4				◎	○	◎	◎	◎			
		創造化学実験	2	本科Z	4					○	○	◎		○	○	
		総合化学特論	4	本科Z	4						○	◎				

注1: インターンシップ1～4のいずれかを修得
 注2: 科目コード欄「*」書きは各コースで科目コードが異なることを示す

※獲得ポイント: ◎印は3ポイント, ○印は1ポイント

令和6年度 阿南工業高等専門学校
専攻科入学願書

推薦による選抜

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受験番号	※
志願者	ふりがな				昭和 平成 年 月 日 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現住所				
	郵便番号	〒	—	電話番号	— —
	卒業学校	(学校名, 学科・コース名)			
		(年 月 卒業・修了・卒業見込・修了見込)			
	所在地	〒			
	学歴・卒業後の職歴				
	昭和 平成	年 月	入学		
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
勤務先	名称 (部課まで)				
	所在地	〒			

- 記入上の注意
- 1 ※欄は、記入しないでください。その他の欄は、志願者が漏れなく記入してください。
 - 2 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）してください。
 - 3 学歴・卒業後の職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
 - 4 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
 - 5 社会人の場合は、勤務先欄を記入してください。

令和6年度 阿南工業高等専門学校
専攻科 入学願書

学力による選抜

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受験番号	※
志願者	ふりがな				昭和 平成 年 月 日 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現住所				
	郵便番号	〒	—	電話番号	— —
	卒業学校	(学校名, 学科・コース名)			
		(年 月 卒業・修了・卒業見込・修了見込)			
	所在地	〒			
	学歴・卒業後の職歴				
	昭和 平成	年 月	入学		
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
勤務先	名称 (部課まで)				
	所在地	〒			

- 記入上の注意
- 1 ※欄は、記入しないでください。その他の欄は、志願者が漏れなく記入してください。
 - 2 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）してください。
 - 3 学歴・卒業後の職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
 - 4 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
 - 5 社会人の場合は、勤務先欄を記入してください。

令和6年度 阿南工業高等専門学校
専攻科 入学願書

AOによる選抜

志望コース名		創造技術システム工学専攻 コース		受験番号	※
志願者	ふりがな				昭和 平成 年 月 日 男 ・ 女
	氏 名				
	ふりがな				
	現住所				
	郵便番号	〒 —	電話番号	— —	
	卒業学校	(学校名, 学科・コース名)			
		(年 月 卒業・修了・卒業見込・修了見込)			
	所在地	〒	☎ — —		
	学歴・卒業後の職歴				
	昭和 平成	年 月	入学		
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
勤務先	名称 (部課まで)				
	所在地	〒	☎ — —		

- 記入上の注意
- 1 ※欄は、記入しないでください。その他の欄は、志願者が漏れなく記入してください。
 - 2 正確かつ明瞭に楷書でペン書き（青又は黒）してください。
 - 3 学歴・卒業後の職歴欄は、高等学校又は高等専門学校入学から記入してください。
 - 4 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
 - 5 社会人の場合は、勤務先欄を記入してください。

令和6年度
阿南工業高等専門学校専攻科
受験票

受験 番号	※
志望 コース	創造技術システム工学専攻 コース
ふりがな	
氏名	
生年 月日	昭和 平成 年 月 日

※欄は記入しないでください。

☆選抜検査日時（以下のとおり）
○推薦による選抜
令和5年5月20日（土）10時00分～
検査当日，9時30分本校受付場所に集合。
○学力による選抜
令和5年7月1日（土）10時00分～
検査当日，9時30分本校受付場所に集合。
○ＡＯによる選抜
令和5年10月14日（土）10時00分～
検査当日，9時30分本校受付場所に集合。

注 意 事 項

- 1．受験票は，常に携行してください。
- 2．本票を忘れたり遺失した場合には，
直ちに入学者選抜検査実施本部（学生課）に届け出てください。

令和6年度
阿南工業高等専門学校専攻科
写真票

受験 番号	※
志望 コース	創造技術システム工学専攻 コース
ふりがな	
氏名	
生年 月日	昭和 平成 年 月 日

※欄は記入しないでください。

写真貼付欄
(全面貼付)

上半身，脱帽，正
面向きで出願前3
ヶ月以内に撮影し
たもの（縦4cm×
横3cm）をこの台
紙に貼り付け

撮影年月日
令和 年 月 日

令和6年度 阿南工業高等専門学校
専攻科調査書

			受験番号	※
ふりがな		国立 公立 私立	学校名 学科名 コース名	
氏 名				
生年月日	昭和 平成 年 月 日	昭和 平成 年 月 入学・編入学		
性 別	男 ・ 女	卒業見込・卒業 年 月 修了見込・修了		
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成したものを添付の上 厳封してください。（成績の評価は素点で明示してください）			
卒業研究 題 目				
在学 中 の 状 況				
上記のとおり相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長名 職印				

※在学中の状況欄には、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。
※裏面にも記入してください。

TOEIC

試験の種類	1 公開テスト 2 IPテスト ※いずれかに○印を付けてください。
試 験 日	年 月 日
トータルスコア	点

※ 公開テストにおける「公式認定証」又はIPテストにおける「個人成績表」の写しを添付してください。

実用英語技能検定

準2級	2級	準1級	1級
※いずれかに○印を付けてください。			
年度 回 合格			

※ 「合格通知書」の写しを添付してください。

技術英語能力検定・工業英語能力検定

資格検定試験名称	級の名称
技術英語能力検定	
工業英語能力検定	
年度 回 合格	

※ 「合格通知書」の写しを添付し、いずれかの欄に級の名称(プロフェッショナル, ○級など)を記入してください。

推薦による選抜

受験番号	※
------	---

推薦書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長名 印

下記の者は，学業成績，人物ともに優れており，専攻科創造技術システム工学専攻
_____コースへの推薦入学にふさわしい者と認め，推薦いたします。

記

氏名		生年月日	平成 年 月 日
推薦理由			

推薦による選抜
(社会人用)

受験番号 ※

推薦書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

所属企業名
代表者の職
氏 名 印

下記の者は、勤務成績、人物ともに優れており、専攻科創造技術システム工学専攻
_____コースへの推薦入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

記

氏名		生年月日	昭和 平成 年 月 日
推薦理由			

推薦・学力による選抜

受験番号	※
------	---

志 望 理 由 書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

氏 名		志望コース名	創造技術システム工学専攻 コース
専攻科を志望する理由，専攻科において取り組みたい課題，伸ばしたい能力及び専攻科 修了後の展望について，600字程度で記述してください。			

AOによる選抜

受験番号 ※

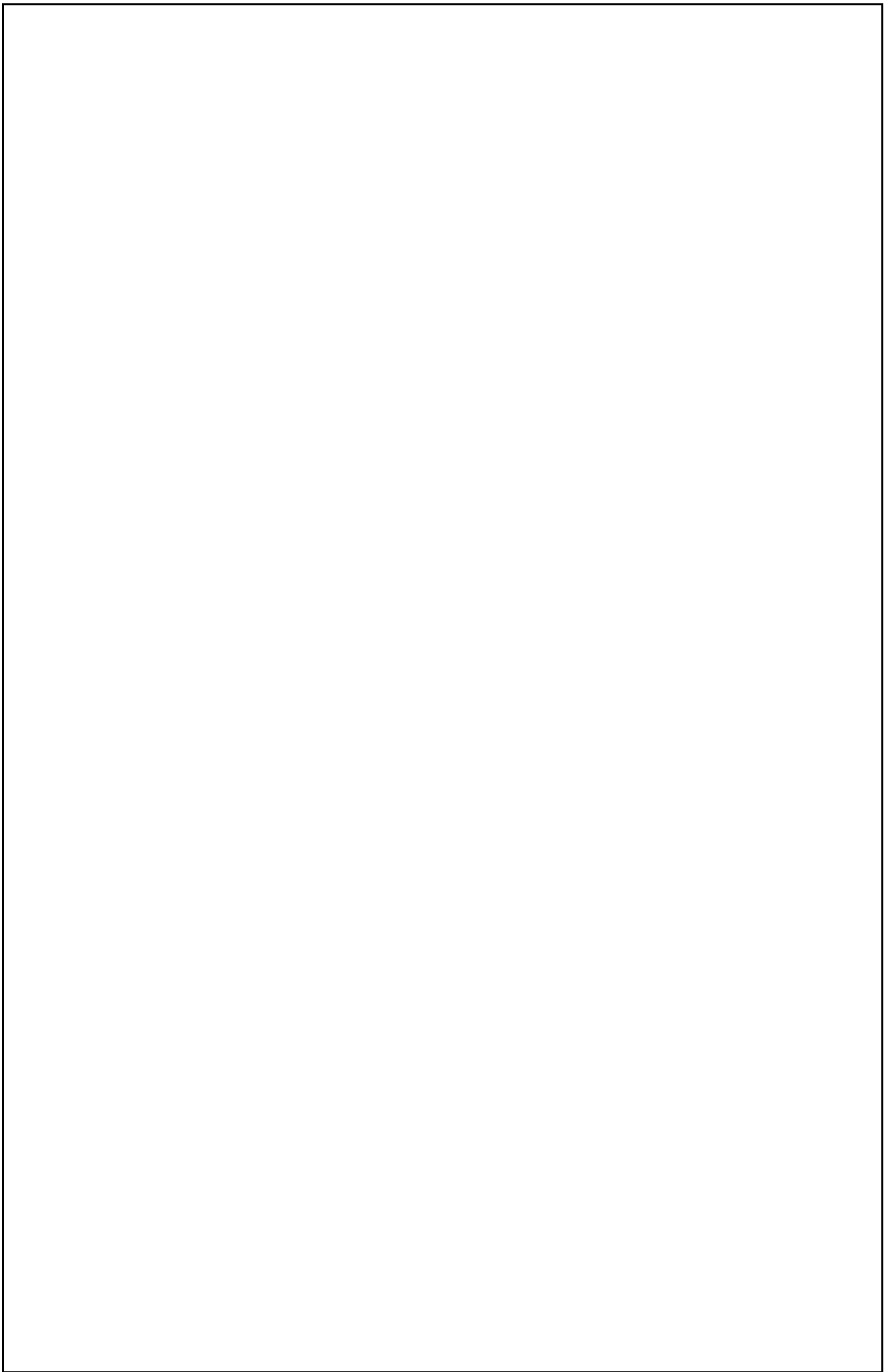
自己推薦書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

氏 名		志望コース名	創造技術システム工学専攻 コース
(1) 卒業研究として取り組んでいる研究内容や今まで履修してきた科目で興味を持って学習してきたことについて，300字程度で記述してください。 (2) 専攻科を志望する理由，専攻科において取り組みたい課題，伸ばしたい能力及び専攻科修了後の展望について，600字程度で記述してください。			

【裏に続く】



受験番号

※

就学承諾書

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

所属長等（所在地）

（所属企業名）

（代表者の職）

（氏 名）

印

入学志願者

が、貴校に入学した場合は、在職したまま

就学することを承諾します。

（注） 1 入学後も企業等に在職したまま就学する方は、提出してください。

2 「所属長等」とは、その就学について応諾できる方です。

なお、押印していただく印鑑については、私印ではなく、公的な文書に押印する
代表者印（公印）を用いてください。

3 ※受験番号欄は、記入しないでください。

学力・ＡＯによる選抜

受験番号

※

就 学 承 諾 書

入学志願者

が、貴校に入学した場合は、在職したまま

就学することを承諾します。

令和 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

所属長等（所 在 地）

（所属企業名）

（代表者の職）

（氏 名）

印

（注） 1 入学後も企業等に在職したまま就学する方は、提出してください。

2 「所属長等」とは、その就学について応諾できる方です。

なお、押印していただく印鑑については、私印ではなく、公的な文書に押印する
代表者印（公印）を用いてください。

3 ※受験番号欄は、記入しないでください。

推薦による選抜 志 願 者 用

受験番号	
------	--

検 定 料 払 込 証 明 書

「振込金証明書」添付場所

※のり付けすること

学力による選抜 志 願 者 用

受験番号	
------	--

検 定 料 払 込 証 明 書

「振込金証明書」添付場所

※のり付けすること

AOによる選抜 志 願 者 用

受験番号	
------	--

検 定 料 払 込 証 明 書

「振込金証明書」添付場所

※のり付けすること

あ て 名 票

○このあて名票は、合格通知書等を郵送する際に使用しますので、
郵便番号、住所、氏名を正確に記入してください。

○マンションやアパートの場合は、建物名、棟、号室まで記入してください。

○必ずボールペンで記入してください。

<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								
都道 府県								
	殿							
※								

<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								
都道 府県								
	殿							
※								

検 定 料 の 納 入 に つ い て

今回納入していただく「**検定料16,500円**」は、本校指定の下記振込依頼書をご利用の上、金融機関にてお振込みくださるようお願い申し上げます。
 なお、出願の方法により、次のとおりとしてください。

- ①**出願書類を持参される場合**・・・出願書類と振込用紙の「**振込金証明書**」(金融機関領収印の押印されたもの)を持参してください。
 ②**出願書類を郵送される場合**・・・出願書類と振込用紙の「**振込金証明書**」(金融機関領収印の押印されたもの)を同封し、書留郵便としてください。

記

1. 検定料の納入は、金融機関窓口（郵便局取扱は不可）にてお願いします。また、本件についてはA T M（現金自動預払機）による振込みの取扱いはできません。（下の切取線以下を切り離してご使用ください。）
 2. 金融機関の領収印をもって本校の領収証書に代えさせていただきます。
 3. お振込みの際には、別途手数料が必要となります。
 4. **振込人氏名は受験者（学生）名を記入してください。**
 5. 本件に関する問い合わせ先は、総務課財務係 です。

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265番地
 阿南工業高等専門学校 総務課財務係 ☎0884-23-7122

切り取り線

領 収 証 書

阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日
振込先	徳島大正銀行 阿南支店
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長
金 額	￥ 1 6 5 0 0
手 数 料	
整理番号	0 0 1 0 0
志望コース	創造技術システム工学専攻
フリガナ氏名	コース

上記の金額正に受取りました。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

印紙

本人控

振込金証明書

阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日
振込先	徳島大正銀行 阿南支店
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長
金 額	￥ 1 6 5 0 0
手 数 料	
整理番号	0 0 1 0 0
志望コース	創造技術システム工学専攻
フリガナ氏名	コース

上記の金額正に受取りました。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

提出用

振込通知書

阿南工業高等専門学校 検定料

依頼日	年 月 日
振込先	徳島大正銀行 阿南支店
受取人	決済用普通預金 8539075 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長
金 額	￥ 1 6 5 0 0
手 数 料	
整理番号	0 0 1 0 0
志望コース	創造技術システム工学専攻
フリガナ氏名	コース

上記の通り振込みましたので
 通知申し上げます。
 (取扱店)

取扱店領収印

銀行

店

取扱店 → 振込先銀行 → 受取人

振 込 依 頼 書

阿南工業高等専門学校

電信扱 検定料

ご依頼日	年 月 日	手数料依頼人負担
振込先	徳島大正銀行 阿南支店	科 目
受取人	決済用普通預金 口座番号 8 5 3 9 0 7 5 ドク)コクリツコウトウセンモンガッコウキコウホンブ 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長	金 額 ￥ 1 6 5 0 0
整理番号	0 0 1 0 0	手 数 料
志望コース	創造技術システム工学専攻	検印 報告 記帳 受付
振込人	フリガナ 氏名 (受験者) 住所 T e l () -	領収印

(注) 郵便局からは振込みできません。
 A T M（現金自動預払機）による振込はできません。
 整理番号・振込人氏名を必ず打電してください。

7 7 4 0 0 1 7

徳島県阿南市見能林町青木二六五

阿南工業高等専門学校 学生課 行

書 留

専攻科出願書類在中

切 手

(持参の場合)
は 不 要

書 留 引 受 番 号

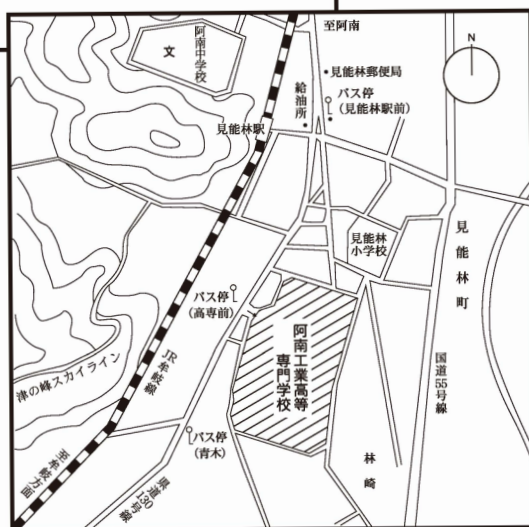
この封筒の中に、次の書類が入っているか確認し、
チェックしてから提出してください。

チェック欄	提出書類
	1. 入学願書・受験票 ・写真票
	2. 調査書
	3. 成績証明書，ＴＯＥＩＣ・英検等の 証明書の写し
	4. 推薦書若しくは自己推薦書 (推薦選抜・ＡＯ選抜)
	5. 志望理由書
	6. 就学承諾書
	7. 検定料振込金証明書 (金融機関領収印の押印されたもの)
	8. 受験票返信用封筒(持参の場合は不要)
	9. あて名票
	10. 外国人は、市区町村長の交付する 住民票
	11. 専門課程を修了したことを証明する 証明書(専修学校を修了した者のみ)

差出人

住所	
氏名	

検査場位置図



本校への交通案内

経路 ①

※空路

羽田空港～徳島空港 1時間15分

経路 ②

※高速バス

大阪駅～阿南駅 3時間6分

三ノ宮駅～徳島駅 1時間48分

舞子～徳島駅 1時間18分

経路 ③

※徳島空港より

(徳島バス：空港線)

徳島空港～JR徳島駅前 25分

※JR徳島駅より

(JR牟岐線)

JR徳島駅～阿南駅 40分

JR徳島駅～見能林駅 50分

(徳島バス：橋線)

JR徳島駅前～阿南高専前
1時間5分

※JR見能林駅より 徒歩10分

※JR阿南駅より タクシー5分

建物配置図

